

◇バッタ目

- クサキリ**の一種：平岡幼稚園 9月 原田来楽 (写59)
クビキリギス：平塚市岡崎 11月 鈴川散策 (年少) (写60)
 ：平岡幼稚園 11月 佐々木武流 (写61)
オナガササキリ：(♀) 平塚市岡崎 11月 鈴川散策 (年少) (写62)
ウマオイの一種：(♀) 茅ヶ崎市芹沢 11月 山本陽向 (写63)
 ：(♀) 平塚市岡崎 11月 鈴川散策 (年少) (写64)
ツユムシ：平塚市岡崎 10月 秋の遠足 (写65)
セスジツユムシ：(♀) 平岡幼稚園 11月 氏居穂高 (写66)
ヒメクダマキモドキ：平塚市日向岡 9月 山本智美・陽向 (写67) (写68)
 ：平岡幼稚園 10月 ばら・たんぼぼ・ゆり・もも組
 ：(♂・死体) 平岡幼稚園 11月 府川馳明 (写69)
オンブバッタ：平岡幼稚園 9～11月 ゆり・もも・ちゅうりっぷ組 (写70)
 ：(♀) 平塚市岡崎 10月 秋の遠足 (写71)
 ：(♀) 平塚市岡崎 11月 鈴川散策 (年少) (写72)
 ：(♀) 茅ヶ崎市芹沢 11月 梶原昇真 (写73)
ツチイナゴ：秦野市曾屋 11月 堀田来佳 (写74)
コバネイナゴ：茅ヶ崎市芹沢 11月 陶山芽生 (写75)
イナゴの一種：秦野市鶴巻 11月 山田衛 (写76)
ショウリョウバッタ：(♂) 平岡幼稚園 10月 熊澤一輝 (写77)
 ：(♀) 大磯町東町 9月 吉田結陽 (写78)
ヒナバッタ：(♀) 秦野市曾屋 11月 堀田来佳・佳代 (写79)
トノサマバッタ：(♂) 平岡幼稚園 9月 原田来楽 (写80)
イボバッタ：平岡幼稚園 11月 佐々木武流 (写81)



59 クサキリ



60 クビキリギス



61 クビキリギス



62 オナガササキリ (♀)



63 ウマオイの一種 (♀)



64 ウマオイの一種 (♀)



68 ヒメクダマキモドキ



69 ヒメクダマキモドキ (♂・死体)



65 ツユムシ



66 セスジツユムシ (♀)



67 ヒメクダマキモドキ



70 オンブバッタ (♀)



71 オンブバッタ (♀)



72 オンブバッタ (♀)



73 オンブバッタ (♀)



74 ツチイナゴ



75 コバネイナゴ



76 イナゴの一種



77 ショウリョウバッタ (♂)



78 ショウリョウバッタ (♀)



79 ヒナバッタ (♀)

◇カマキリ目

- オオカマキリ**：茅ヶ崎市芹沢 11月 氏居穂高 (写82)
チョウセンカマキリ：茅ヶ崎市柳島 10月 堀田来佳 (写83)
ハラビロカマキリ：(♀) 平塚市日向岡 10月 山本智美・武翔 (写84)
 ：(♀) 茅ヶ崎市柳島 10月 堀田来佳 (写→P8)
コカマキリ：平塚市中里 11月 氏居穂高 (写85)
 ：茅ヶ崎市芹沢 11月 原田来楽・陶山芽生 (写86)



80 トノサマバッタ (♂)



81 イボバッタ



82 オオカマキリ



83 チョウセンカマキリ



84 ハラビロカマキリ (♀)



85 コカマキリ



86 コカマキリ

◇ハエ目

- ホソヒラタアブ：平岡幼稚園 11月 ばら組 (写87)
- ナミハナアブ：平塚市真田 11月 堀田佳代 (写88)
- オオハナアブ：平岡幼稚園 11月 堀田佳之介 (写89)
- ベッコウバエ：平岡幼稚園 11月 堀田文之助 (写90)
- キモグリバエの一種：平岡幼稚園 11月 堀田佳之介 (写91)

◇ハチ目

- クロアナバチ?：平塚市日向岡 9月 山本智美 (写92)
- キムネクマバチ：(♀) 平塚市寺田縄 10月 秋の遠足 (写93)
- キイロスズメバチ：箱根町元箱根 9月 堀田佳之介 (写94)



91 キモグリバエの一種



92 クロアナバチ?



93 キムネクマバチ (♀)

【クモ綱】

◇クモ目

- アシダカグモ?：平塚市めぐみが丘 9月 市川寛人 (写95)
- ジョロウグモ：(♀) 平岡幼稚園 11月 ちゅうりっぷ組 (写96)
- キハダエビグモ?：平岡幼稚園 11月 いちご組 (写97)

【甲殻類】

- サワガニ：平岡幼稚園 9～11月 全クラス・親子観察会 (写98)
- フナムシ：大磯町照ヶ崎海岸 9月 小野田絆利 (写99)
- ：平塚市千石河岸 10月 堀田ゆら (写100)

【貝類】

- ミスジマイマイ：平岡幼稚園 11月 小林蒼・いちご組 (写101)
- コハクオナジマイマイ：平塚市岡崎 10月 秋の遠足 (写102)

【両生類】

- ニホンアマガエル：茅ヶ崎市芹沢 11月 氏居穂高 (写103)
- ：秦野市鶴巻 11月 山田衛 (写104)
- ：平塚市寺田縄 10月 秋の遠足 (写105)
- ：平岡幼稚園 11月 もも組 (写106)

【爬虫類】

- ニホンカナヘビ：平岡幼稚園 11月 堀田佳之介 (写107)
- ヒガシニホントカゲ：(幼体) 平岡幼稚園 11月 堀田佳之介 (写108)
- ヤマカガシ：箱根町元箱根 11月 堀田來佳 (写109)
- ヒバカリ：平岡幼稚園 9月 堀田佳之介 (写110)
- ボールニシキヘビ：愛川町 10月 月貴之 (写111)

【鳥類】

- アオサギ：平塚市岡崎 10月 秋の遠足 (写112)
- トビ：茅ヶ崎市中海岸 10月 岸一弘 (写113)



87 ホソヒラタアブ



88 ナミハナアブ



89 オオハナアブ



90 ベッコウバエ



94 キイロスズメバチ



95 アシダカグモ



96 ジョロウグモ (♀)



97 キハダエビグモ?



98 サワガニ



99 フナムシ



100 フナムシ



101 ミスジマイマイ



102 コハクオナジマイマイ 外来種



103 ニホンアマガエル



104 ニホンアマガエル



105 ニホンアマガエル



106 ニホンアマガエル



107 ニホンカナヘビ



108 ヒガシニホントカゲ



109 ヤマカガシ



110 ヒバカリ



111 ボールニシキヘビ 外来種



112 アオサギ



113 トビ

【植物】

- イヌタデ：平岡幼稚園 9～10月 平岡幼稚園児 (写¹¹⁴)
- ミゾソバ：平岡幼稚園 9月 平岡幼稚園児 (写¹¹⁵)
- ツククサ：平岡幼稚園 9月 平岡幼稚園児 (写¹¹⁶)
- ミズヒキ：(花) 平岡幼稚園 9月 平岡幼稚園児 (写¹¹⁷)
- ツルニンジン：箱根町元箱根 9月 堀田佳之介 (写¹¹⁸)
- アケビ：(実) 平岡幼稚園 10月 ちゅうりっぷ組 (写¹¹⁹)
- リンドウ：南足柄市矢倉沢 11月 池田晴紀 (写¹²⁰)



114 イヌタデ



115 ミゾソバ



116 ツククサ



117 ミズヒキ (花)



118 ツルニンジン



119 アケビ (実)



120 リンドウ

めずらしい生き物

- ホトケドジョウ**：平塚市 11月 堀田来佳・佳之介 (写¹²¹)
 ⇨谷戸の源流域、湧水のある水路などに生息する種です。開発等による生息環境の悪化により、環境県レッドデータ 2006 で絶滅危惧ⅡB類に位置付けられています。(堀田)
- タカネトンボ**：(♂) 平岡の森 11月 堀田佳之介 (写¹²²)
 ⇨近年、湘南地域では記録が得られなくなっているトンボです。平岡の森では 2010 年に記録されて以来、2 例目の記録となりました。(堀田)
- コバントビケラ**の一種：(幼虫) 平塚市 11月 堀田来佳・佳之介 (写¹²³)
 ⇨コバントビケラ属は大磯丘陵では初記録になると思います。小判型に切り取った枯れ葉を 2 枚貼り合わせて巣を作る、面白い昆虫です。(堀田)
- ハッカハムシ**：茅ヶ崎市 11月 山本智美 (写¹²⁴)
 ⇨あまり多くはない種です。2007 年・2014 年には平岡幼稚園内でも記録があります。(堀田)



121 ホトケドジョウ



122 タカネトンボ (♂)



123 コバントビケラの一種 (幼虫)

枯れ葉を剥がすと



124 ハッカハムシ

平塚市と周辺地域以外のセミのぬけがら

平塚市と周辺地域のぬけがらの記録はとりまとめて、2018 年 3 月発行の平塚市博物館研究報告「自然と文化」41 号にて報告しますが、そこに含まれなかった記録を紹介します。
 なお、小田原市のクマゼミの記録は、別途発表予定ですので、個体数は省略しました。

- 7月28日 神奈川県小田原市 山口心菜 アブラゼミ 1♂ クマゼミ
- 8月1日 静岡県伊豆市 比佐野将太・拳太・夢結・心結・麻美子 ヒグラシ 4♂4♀
- 8月3日 愛知県名古屋市 川井悠生 アブラゼミ 32♂19♀ クマゼミ 12♂19♀
- 8月20日 神奈川県南足柄市 新井梨紗 アブラゼミ 3♂7♀ ミンミンゼミ 1♂1♀
- 9月10日 神奈川県小田原市 山口心菜 クマゼミ
- 9月24日 神奈川県小田原市 山口心菜 アブラゼミ 1♂2♀ クマゼミ



- 文献紹介 - はっけん隊が見つけた”めずらしい生き物”の記録を発表しました



「ハルゼミの生態に関する新知見」
 Cicada, 24(1): 29-30.

2017 年 4-6 月に実施した県内のハルゼミ調査の際に得られた新知見(寄生植物ではない樹木への産卵例ほか)を、日本セミの会会報 Cicada Vol.24, No.1 にて発表しました(日本セミの会 三好智和氏と共著)。
 本誌は幼稚園に収蔵されていますので、お読みにになりたい方は佳之介先生まで。

記録地の一部に誤りがあったため、訂正を行いました。



「神奈川県におけるラクダムシの追加記録」の訂正
 神奈川虫報 (193): 81.



アオバト観察会にて (9/3)

地域の自然を知ろう！遊ぼう！

はっけん隊 活動報告

2017.9月～11月



アオバト観察会

2017年9月3日(日)7:30～8:30に大磯の照ヶ崎海岸で、“こまん”の皆様のご協力のもとアオバト観察会を行いました。私たちが到着する前に、既に照ヶ崎海岸を覆いつくすような500羽の群れが記録されたとのことでした。

死んでしまったアオバトを観察しました(右の写真)。間近で見ると、緑色の羽、水色の嘴(くちばし)がとても色鮮やかで見惚れるほどでした。このアオバトはハヤブサに追われて防波堤に激突して死んでしまったのです。ハヤブサも獲物をとらないと死んでしまいます。命の繋がりを体感できる一場面となりました。



死んでしまったアオバト



アオバトについて色々教えていただいた“こまん”の皆様、ありがとうございました！



「くずはの家で遊ぼう！」

2017年9月16日(土)10:00～12:30に秦野市くずはの家に遊びに行ってきました。本当は、葛葉川に下りて、魚類や甲殻類、水棲昆虫類などを探して楽しめたかったのですが、当日はあいにくの雨で、室内での活動となりました。イベント開催にご協力して下さった金目川水系流域ネットワークの皆様、ありがとうございました。



「鳥や魚のことも知れて良かったです」(園児母)

金目川ネットの皆さんが身近な生き物のお話をして下さいました。



はっけん隊の画！好きな生き物の絵を描きました☆



家族対抗エノコログサ競争～♪

「ねこじゃらしのゲームが楽しかった」(園児)



皆さんの作品(一部)



色鉛筆、絵の具、クレヨン、いろいろ使ったね！



「雨だったのが残念。今度また晴れた日に来ます。」(園児母)

くずはの家

平岡幼稚園親子観察会

2週連続の台風来襲により延期になっていた平岡幼稚園ビオトープ親子観察会、ようやく2017年11月3日(祝金)に実施できました。鮮やかな秋の色どりに囲まれながら、園庭池・原っぱ池の生物調査のほかに、平岡の森にて、忍者バッタ探し・葉っぱの笛づくり・サワガニ探し・木の実を使った色水づくりなど、普段、園児が楽しんでいるあそびを親子で楽しみました。

おまけイベントの銀杏拾いは、台風の影響で全部落ちてしまったので、園で下処理したものを使って掴み取り大会も実施。盛りだくさんの内容になってしまい、11:30に終わる予定が1時間もオーバーしてしまいましたが、とても楽しい観察会になりました。ご参加いただいた方ありがとうございました。延期のため参加できなかった皆様、また次回お申込みください！



池の生き物探し！

ミズカマキリやコガムシ、シオカラトンボ属のヤゴなど色々な生き物が見つかりました！



「虫が苦手でしたけど楽しめました。子どもたちは何でも触るんですね。今日カニが触れるようになりました。」(園児父)



葉や実を使った遊び



「池の生き物すくいが楽しかった」(園児)
「平岡の森のカニ探しが楽しかった」(園児)



鳴き声は聞こえるのに見つからず…(涙)

忍者バッタ探し



木の葉っぱを使って笛作り！
「ぶ〜〜ぶ〜〜」
色々な葉っぱで試してみよう！



「兄が在園中に皆と一緒に掘った池に色々生き物が来てビックリです」(園児母)



サワガニ探し！

10分で256匹も！



おまけ企画・銀杏拾い&試食！



柳谷(茅ヶ崎里山公園)自然観察会

2017年11月11日(土)、茅ヶ崎野外自然史博物館主催の観察会「秋色に染まる動植物」に参加してきました。所々紅葉が始まった柳谷をみんなで散策し、見つかった生き物は、バッタ類(ウマオイ・コバネイナゴ・オンブバッタ・クビキリギスなど)、カマキリ類(オオカマキリ・コカマキリ)、トンボ類(アキアカネ)、チョウ類(ウラギンシジミ、クロコノマチョウなど)、鳥類(オオバン・カイツブリ・マガモなど)。今回も多くの生き物が観察できました。柳谷観察会は定期的に開催されていますので、またみんなであそびに行きましょう！



スタジイのどんぐり食べてみたよ！

5種類のどんぐりが拾えたよ！



「春夏と違った生き物、秋の木の实など見れて楽しかったです」(園児母)

「秋を感じれて良かったです」(園児母)



「ハリガナムシがカマキリに寄生する結が面白かったです」(園児母)

カマキリの観察中



「カマキリ捕まえたのが楽しかった」(園児)

特集2 えっとう 越冬する昆虫 ～虫は冬にどこに行っちゃうの？～

春夏あれほど多く見られた虫たちは、冬にはあまり見かけなくなってしまう。でもいなくなってしまうわけではありません。卵・幼虫・成虫、さまざまな形で冬を過ごしています。雪が降ったり、氷が張ったりする厳しい冬を、水の中、草の中、落ち葉の下、土の中、色々なところで命がけで乗り切ろうとしています。

このように生き物が冬を越すことを“越冬(えっとう)”と言います。

越冬する際の形態はさまざま、例えば同じトンボでも、成虫で越冬するもの(オツネトンボなど)、幼虫で越冬するもの(ギンヤンマなど)、卵で越冬するもの(アキアカネなど)があります。また、チョウ類は、キタキチョウなどは成虫で、アゲハは蛹、ゴマダラチョウは幼虫、アカシジミなどは卵で越冬します。セミ類など長生きする昆虫は、成長段階に応じて越冬形態が違うものもいます(例えばアブラゼミは、1年目は卵で越冬し、2年日以降は幼虫で越冬します)。

今回は、代表的な昆虫の冬越しの様子をピックアップしてみました。私たちは四季を通じてたくさんの生き物に囲まれています。この特集を参考にして冬にも昆虫探しをしてみてください。これらの昆虫は幼稚園の中でも見つけられますよ!

オオミノガ幼虫
(ミノムシ)

主に葉などを使って巣をつくります。

アブラゼミ卵

1年目は卵で越冬します。

ハラビロカマキリ卵鞘

たくさんの卵が入った“卵鞘(らんしょう)”が枝などに付いています。

ホソミイトンボ

小枝などに留まって越冬します。

ゴマダラチョウ幼虫

エノキ(幼虫の食草)の根元の落ち葉の下で越冬します。

カブトムシ幼虫

腐葉土や堆肥の中などで越冬します。

コクワガタ

倒木の中で幼虫・成虫が越冬しています。

アブラゼミ幼虫

2年日以降は幼虫で越冬します。

ジャコウアゲハ蛹

草の中などで越冬しています。

キタキチョウ

クビキリギス

アメンボは冬にはどこに行っちゃうんだろうね？冬にどこに行くのかよく分からない虫もいるんだよ

クロナガアリ

巣の中で貯食していたものを食べながら越冬します。

ケラ

土の中で越冬しています。

ギンヤンマ幼虫

池など水の中で越冬しています。

第6回 ～チョウが好む花と樹液のはなし～

クヌギの樹液に集まる
タテハチョウ科のアカタテハ(左)
とルリタテハ(右)

平岡いきものはっけん隊世話人

あいだ しげみち
會田 重道 先生



1942年東京生まれ。大磯町在住。幼少の頃よりチョウに興味を持ち、大学では農業昆虫学を専攻。退職後は大磯丘陵のチョウの調査と写真撮影を行う。日本鱗翅学会、日本チョウ類保全協会、相模の蝶を語る会各会員。著書に写真集「大磯の蝶」がある。

このコラムのの写真はすべて會田先生撮影です。

チョウ（成虫）の餌は、ご存知のように花の蜜が主体です。しかし、中には花に吸蜜に来ることはほとんどなく、樹木から出てくる樹液や果汁を好む種類もあります。ここでは、筆者が大磯丘陵で経験した中で、チョウが主にどんな花を好むのか、樹液を好むのはどんな種類なのかを書いてみます。

※ここでは扱いませんが、花や樹液、腐った果実のほか、水を吸う種もあります。

① アゲハチョウ科：体が大きく口吻も長いので、大きな花の蜜が吸える。

(ツツジ、アザミ、ヤブガラシ、クサギ、ヒガンバナ、ランタナ、百日草、キバナコスモスなど)



② シロチョウ科：アゲハの仲間に比べると体が小さく口吻も短いので、比較的地面に近い小型の花を好む種が多い。

(ヒメジョオン、ハルジオン、タンポポ、アブラナ(ナノハナ)、ショカツサイ、コセンダングサなど)



③ タテハチョウ科：食べ物は種によって様々。花に来る種もいるが、樹液や腐った果実などに集まるものも多い。



④ シジミチョウ科：体が小さく口吻も短いので小型の花を好む。

(ヒメジョオン、アブラナ、タンポポ、セイタカアワダチソウ、カタバミ、クリ、イボタノキなど)



⑤ セセリチョウ科：体が小さく口吻も短いので小型の花を好む。

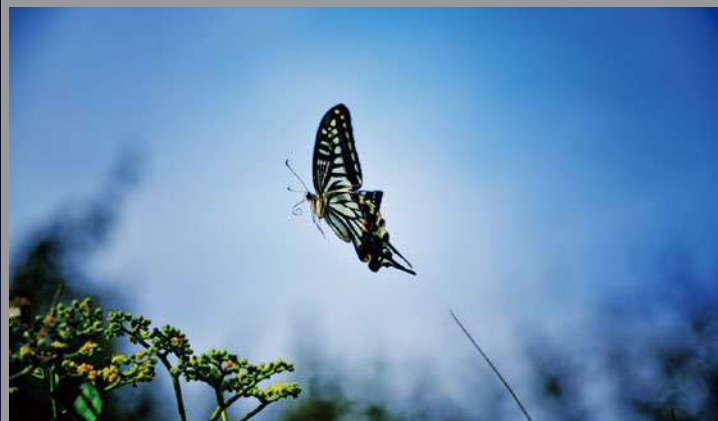
(ヒメジョオン、タンポポ、モミジイチゴ、アザミ、オカトラノオ、百日草、ランタナなど)



自然の美しさ・自然とふれあう子どもたち
きらめく一瞬を切り取った写真館

とっておきの一枚！
写真投稿コーナー

写真好きなお父さんお母さん、とっておきの1枚をここに載せてみませんか？ 機材は、なんでもOKです。撮影者・題名・機材名(わかれば)を添えて下記アドレスまで。
ikimono@hiraoka-kg.com



『アゲハ、舞い降りる』 小林鉄斎 ニコン D7000 1/8000 F3.5 ISO200
小林さんは平岡幼稚園のイベントの撮影を下さっているスロカメラマンです。



『芦ノ湖の遊覧船からみた風景』 橋本愛子
スマートフォン



『黒木間蝶』 富岡誠一
Fujifilm X-T1



『平岡幼稚園で見つけたサワガニ』
氏居真紀 スマートフォン



『秋の空気を感覺到頂上へ！』 池田由美子
スマートフォン



『森のかくれんぼ』 山本剛

『平塚市岡崎から見た晩秋の夕暮れ』 堀田佳之介 Olympus TC-5

はっけん隊からのお知らせ

● 全国学校園庭ビオトープコンクールの結果について

「全国園庭ビオトープコンクール 2017」の結果発表があり、平岡幼稚園の取り組みが評価され、3年連続で日本生態系協会賞を受賞することが出来ました。2月11日に東京大学ではっけん隊の活動の発表を行います。発表会の様子は次号に掲載予定です。

● 湘南自然誌のバックナンバー

園ホームページからバックナンバー (PDF) がダウンロードできます。ぜひご利用ください。

平岡幼稚園ホームページ
<http://hiraoka-kg.com/>

本誌は、神奈川県立生命の星・地球博物館(ライブラリー)、平塚市図書館、大磯町図書館、秦野市くずはの家、神奈川県立秦野ビジターセンターなどでも全号閲覧できます。

● 野鳥画「里山の鳥たち」を寄贈いただきました

日本野鳥の会神奈川支部より、絵本作家の東郷なりさ氏の作品「里山の鳥たち」を寄贈いただきました。この絵は、里山の風景の中に、県花ヤマユリ、日本固有種のセグロセキレイやアオゲラなど県内で身近に見られる野鳥20種をあしらったとても素敵な絵です。

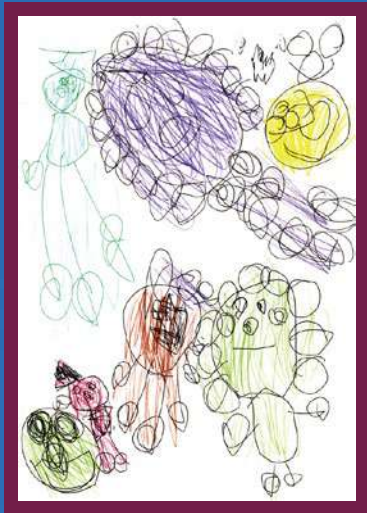
毎日、園児が目にする事ができる体育室入口に設置しましたので、ご来園の際はぜひご覧ください。



おえかきひろば

はっけん隊
絵画投稿コーナー

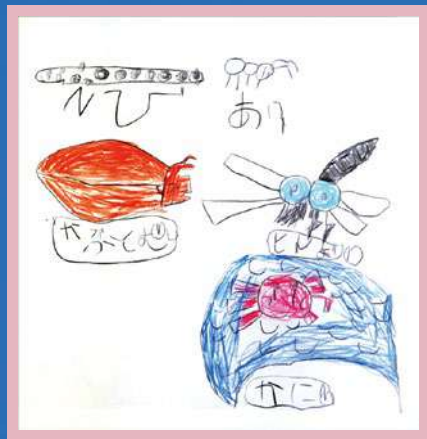
(今回の表紙絵は、教職員 19 名 + 父母の会本部 役員 9 名で投票を行い選出しました。)



「バットとトンボとかたつむり」
画：ほった ここゆ (4 さい)



「虫の幼稚園」
画：ますだ ほのか (6 さい)



「みつけた いきもの」
画：ささき みずか (5 さい)



「かぶと虫めす」
画：いいむら ゆきや (5 さい)



10月茅ヶ崎市にて
チュウサギ



「いろいろなワシ、タカ、とり」
画：ほった らいか (8 さい)

平岡幼稚園の紹介

平塚市北部の伊勢原台地南端の麓に位置する我が園には、台地斜面から湧き水が染み出し、元々の土土も多く残されるなど、豊かな自然環境が保存されています。2009年より園地をビオトープにして、周囲に住む多様な生き物呼び込みながら、子どもたちと一緒に地域の自然環境を保全する活動を行っています。昭和42年開園、学園地総面積7,501㎡。

- 【受賞歴】2012年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2011「学校園庭ビオトープ奨励賞」受賞
2014年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2013「日本生態系協会賞」受賞
「関東・水と緑のネットワーク拠点100選」に「平岡幼稚園ビオトープ」が選定
2015年 生物多様性日本アワード 最終選考
2016年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2015「日本生態系協会賞」受賞

【主な研究・発表実績】

- ◆2015年
平塚市内のセミのぬけがら調査(2014年)。自然と文化、(38): 33-46. 平塚市博物館。
- ◆2016年
平塚市とその周辺地域のセミのぬけがら調査(2015年)。自然と文化、(39): 41-59. 平塚市博物館。
神奈川県西部(主として平塚市)のハルゼミ調査。自然と文化、(39): 29-40. 平塚市博物館。
神奈川県平塚市でミンミンゼミ赤色型を採集。Cicada, 22(2): 40. 日本セミの会。
平岡幼稚園(平塚市岡崎)でヒラタクワガタを目撃。神奈川虫報、(190): 26-27. 神奈川昆虫談話会。
- ◆2017年
平塚市におけるトンボ目の生息状況(2015-2016)。神奈川自然誌資料、(38): 59-66. 生命の星・地球博物館(共著)
平塚市と周辺地域のセミのぬけがら調査(2016年)。自然と文化、(40): 41-60. 平塚市博物館。
神奈川県におけるハルゼミ *Terposia vacua* (Olivier, 1970) 調査。自然と文化、(40): 61-80. 平塚市博物館。
アブラゼミ脱皮殻にみられた畸形。Cicada, 23(2): 37-38. 日本セミの会。

●P1のクイズの答え

かくれんぼ名人「忍者バット」
(ヒメクダマキモドキ) は
ここにいました。
見つかったかな!?



編集後記

毎号全編にわたり内容のチェックをしていただいている岸一弘先生、コラムを執筆して下さっている會田先生、そして、対談を引き受けて下さった山田先生、ご協力ありがとうございます。

今回の特集は、これまで続いてきた自然関係の先生方とはまた違った切り口の内容となりました。文中で紹介された絵本は幼稚園の図書室にも並んでいますので、ぜひ手に取ってみてください。

本誌をより読みやすく楽しめるように、いつも以上に園児達の写真を多く載せ、稚拙ながら私の絵も取り入れてみました。是非感想をお聞かせ下さい。

最後に、快く貴重な複製の撮影許可を出して下さいました国立科学博物館と県立桑野ビジターセンターに感謝申し上げます。(富岡)